

酪農現場における ATP ふき取り検査の活用事例

～ ATP 検査・細菌検査で蓄積したデータを衛生管理・品質管理の改善に活かす～

北海道デーリイマネージメントサービス有限会社
獣医師

榎谷 雅文 氏



その他

乳牛が乳房炎に罹患すると、その農場は多大な経済的な損失を被ることになる。そのため、乳房炎の予防は酪農家にとって重要な管理項目の一つである。乳房炎の予防対策では、搾乳作業を衛生的に行うことが効果的である（衛生的な搾乳作業は牛乳の品質改善にもつながる）。榎谷氏は、以前から酪農現場の衛生指導の改善のツールとして ATP ふき取り検査を活用しており、その経験から「ATP 検査を用いた現場改善に取り組む（作業手順を見直す）ことで、作業手順（工程）から無駄な要素がなくなり、結果的にコスト面でも節約につながっていく」と考えている。

本講演録では ATP 検査を用いた搾乳作業の改善指導の結果、実際に乳房炎の予防や乳質の向上につながった事例を紹介。また、同氏が ATP 検査を用いて「衛生的な搾乳作業の手順」（乳頭の清拭（ふき方）手順、ATP 検査での標準的なふき取り方法、ATP 検査の基準値設定の検討など）を検討した過程についても詳細に解説している。